

## 【予算案等提案理由】

続きまして、今回提案をいたしております**新年度予算案**について申し上げます。

一般会計のほか、6件の特別会計、3件の公営企業会計の予算案を上程しており、いずれも、主要施策として申し上げました取り組みを進めるため、本市の厳しい財政状況を考慮して、予算を編成したところであります。

編成にあたりましては、事務事業の見直しや公共施設の適正化をより一層推進するなど、財政健全化の取り組みを継続するとともに、後年度の財政負担を考慮して、学校施設建て替えなどの大型ハード事業を着実に進めるため、他の投資的経費を極力抑制するよう努めたところであります。

歳入につきましては、国が新たな経済対策として打ち出した定額減税の実施などにより市税が減収となる一方、人事院勧告による人件費の増加などを踏まえ、地方交付税の算定基準額が引き上げとなることなどに伴い、一般財源の総額を対前年度3億3千9百万円余の増収と見込んでおります。

歳出につきましては、本市の抱える諸課題を先送りすることなく予算化するとともに、施策の優先順位を再検討し、事業の選択と集中をより一層徹底することで、可能な限り収支不足の圧縮に努めたところです。

また、市政運営の指針となる「第2次大田市総合計画・後期計画」に掲げる将来像「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち“おおだ”」の実現に向けた施策につきましては、重点的に予算配分しております。

この結果、一般会計当初予算の総額は、対前年度16億2千万円、7.2%増の、241億5千万円としたところであり、本予算を「**人口減少時代を乗り越え、おおだの誇りを未来へ繋げるための予算**」と位置づけ、先に申し上げました主要施策を迅速かつ確実に実行してまいります。

特徴的な事業といたしましては、婚活支援を行うための「出会いの場創出事業」、歴史・文化を未来に繋げるための「世界遺産登録20周年・石見銀山発見500年記念事業」、観光産業の活性化を図るための「“TWILIGHT EXPRESS 瑞風”受入環境整備事業」、市内3葬斎場の集約化を図るための「大田葬斎場長寿命化改修事業」、現校舎の建て替えを進めるための「大田小学校整備事業」などであります。

このほか、安全確保に向けた公共施設の改修・修繕対策を計画的に進めるとともに、教育の魅力化や地域の脱炭素化、協働・共創のまちづくりや大田市立病院をはじめとする地域医療体制の確保につきましても、継続して取り組んでまいります。

なお、昨年の決算審査特別委員会の指摘事項などにつきましては、その対応調書をタブレットに掲載いたしております。

次に、**令和5年度の補正予算案**につきましては、一般会計のほか、7件の特別会計、3件の公営企業会計の補正予算をそれぞれ上程いたしております。

一般会計補正予算につきましては、「令和6年能登半島地震」に係る職員派遣経費や各種基金への新規積立金などを計上する一方、各種事業の実績減を併せて計上しており、総額2億9百万円余を減額するものであります。

補正後の一般会計の予算総額は、253億6千5百万円余となります。

以上の予算案のほか、条例案件、一般案件の諸議案につきまして、本会議へ提案いたしております。詳細につきましては、それぞれ担当部課長に説明させますので、十分にご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様、市議会議員各位のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げ、私の施政方針並びに提案理由の説明といたします。